



遥か彼方に天狗高原が見える

さて、冬になると遠く北の方角に、冠雪の天狗高原が見え、その風景は格別に美しく風情があるのだそう。地区の方に向かかったところ、天狗高原の展望台からも、この八千数の山々が見えるという。こじんまりとして住みやすいという八千数であるが、遥か遠くを眺めると、その風景は壮大である。地区の一番奥の谷間から、北に広がる壮大な風景に向かって末広がり八千数。地区を空から見たら、なるほど八の字になっている。

地区の中央を八千数川が流れ、これが東又川へ、さらには四万十川へ注いでいる。以前は水量もたっぷりあり、八千数はもちろん、藤ノ川地区も潤っていたのだそうだ。

県道を挟んでお向かいの藤ノ川地区同様、農業への取り組みは熱心で、早くから集落営農に挑戦していた地区でもある。

「はっせんず」と読む。戦国時代の名があるので、この地区名の由来は、それより前になる。いつの時代かは定かではないが、この地域の南側、興津地区への峠にそれはそれは大きな杉の木があった。その大木ぶりは、興津からも見えるくらいであったという。ある時、おそらく台風であろう、大風が吹き、この大木が倒れてしまった。地区の民は、この大木を材木として活かすため大鋸を引き、何枚もの板をとった。そのとき取れた板の枚数が八千枚。それが地区名の由来であるという。

現在、29世帯約70名の人が暮らしている。町内各地区の高齢化が著しい中、八千数は比較的若い人が多い。地区のお宮は白皇神社。7〜8名の当番制で年4回のお祭りを行っている。また、「謂れ」には忠実で、地区で行う草刈りには、八千数を拓いた人のお墓とされる場所も必ず手入れするのだという。



年4回のお祭りがある白皇神社

四万十町
町内「ぶら〜り」散策

八千数

はっせんず

町のうごき	(7月31日)		人口		前月比		出生		死亡		転入		転出		適正值(mg/l)		8月7日								
	男	女	計	世帯数	男	女	計	男	女	計	男	女	計	リン酸	硝酸	アンモニウム	アニオン活性剤	化学的酸素消費量							
	8,913	10,014	18,927	8,781	-11	11	0	4	8	12	17	13	10	27	37	≤ 5.0	≤ 0.5	≤ 5.0	≤ 1.0	≤ 10.0	0.523	測定値以下	測定値以下	0.40	測定値以下

※ 四万十川の 水質状況

調査：大正（吾川）
資料：四万十高校自然環境部

● 四万十町ホームページアドレス <http://www.town.shimanto.lg.jp/> ●

※ 広報「四万十町通信」はホームページでも、ご覧いただけます。(pdfファイル)